

ゼミ合宿 (3)

というか、レクレーションと帰宅。
学生さんがテキパキとお片付けしてくれて、本当に感謝。
合宿所を出た後は、サントリーの白秋蒸留所とシャトレゼ工場の見学へ。
ウイスキー工場の見学は、情報科学若手の会の後に御殿場に行って以来2度目。
発酵中の泡立った麦の様子や、寝かせてある樽、
樽を焙ってリチャーする様子などの見学ができて、かなり楽しかった。
で、最後に試飲。
サイダーで割るハイボールも悪くはなかったけど、
やっぱりストレートだよなということで、ストレートでも試飲させてもらう。
10年と12年の違いに感動したり。
ついでに、有料の試飲で、18年と25年、そして0年を試してみる。
時間の流れ、というものをすごく感じた。25歳の時に飲んでみたかったなあ。
ちなみに、白秋30年というのは存在しないらしい。
シャトレゼ工場では、特にガイドや説明というものはなく、
工場がぐるっと見渡せるようなホールが用意してあって、
そこでアイスクリーム食べながら観察してね、というスタイル。
さすがの連休中日ということで、人がたくさん...
なのは、アイスボックスの回りだけだったので、
バーアイスの機械をのんびり眺めることができました。
I先生の機械への観察眼が、さすがアーキテクチャ屋さん!! という感じで面白かったり、
T君のの着眼点が機械系出身という感じで面白かったり。